

平成28年第1回定例会（2月議会） 産業観光分科会・委員会 提出資料

平成28年2月24日
観光文化スポーツ部

【当初予算関連】

観光戦略課	地域観光施策推進事業について	・・・	1
	観光宿泊施設等の改修支援等について	・・・	4
	新たな観光客開拓推進事業について【新規】	・・・	6
あきたびじょん室	あきたびじょんブランド化推進事業について	・・・	8
観光振興課	観光連盟強化支援事業について	・・・	10
	秋田の観光宣伝力強化事業について	・・・	12
	「日ASEAN次官級交通政策会合」 開催支援事業について【新規】	・・・	16
秋田うまいもの販売課	アンテナショップ運営事業について	・・・	17
	県産品販路拡大対策事業について	・・・	18
	高品質販路開拓事業について【新規】	・・・	20
	大消費地販路開拓事業について【新規】	・・・	23
	アンテナショップの今後のあり方について	・・・	別冊
	総合食品研究センター施設・設備整備費について	・・・	25
交通政策課	広域交通ネットワーク維持・誘客促進事業 について	・・・	27
	奥羽・羽越新幹線整備促進事業について【新規】	・・・	29
	バス関連予算について	・・・	30
	秋田内陸縦貫鉄道関連予算について	・・・	33
	由利高原鉄道関連予算について	・・・	35

文 化 振 興 課	文化による地域の元気創出事業について	・ ・ ・ 3 6
	文化施設整備推進事業について	・ ・ ・ 3 9
	県民会館・市文化会館の建替による 県・市連携文化施設整備方針（案）	・ ・ ・ 別冊
ス ポ ー ツ 振 興 課	秋田のトップスポーツチーム応援事業について	・ ・ ・ 4 0
	スポーツ王国創成事業について	・ ・ ・ 4 2
	県有体育施設整備・改修事業について	・ ・ ・ 4 4
	2 0 2 0 プロジェクト推進事業について	・ ・ ・ 4 6
	日本スポーツマスターズ 2 0 1 6 秋田大会 開催事業について【新規】	・ ・ ・ 4 7

地域観光施策推進事業について

観光戦略課

1 目 的

「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」における重点戦略を推進するため、観光文化スポーツ部と地域振興局が役割分担を行い、緊密な調整・連携や、情報共有を図りながら、地域振興局において、地域に密着した観光施策・事業を実施することにより、地域の観光振興を推進する。

2 概 要

魅力ある観光地づくりの促進、県内流動や近隣県等との交流の活性化、秋田県市町村未来づくり協働プログラムの推進等に関する事業を重点的に実施することとしており、事業内容は、以下のとおりとなっている。

(単位：千円)

	事業名	事業概要	予算額
鹿角	鹿角広域観光機能合体推進事業	十和田八幡平国立公園80・60周年を契機とした青森・岩手連携観光キャンペーン、訪日外国人観光客の受入態勢整備、教育旅行誘致活動等	4,520
	鹿角の“食”情報発信発信事業	スタンプラリー、食の鹿角ブランド情報発信、鹿角ブランドでおもてなし等	1,007
鹿角地域振興局 計			5,527
北秋田	森吉山を中心とした誘客機能強化事業	滞留型観光商品開発支援、内陸線と森吉山観光エリアの二次アクセス整備、旅行エージェント等へのプロモーション、外国人旅行者受入研修会、近隣県等での観光PR等	3,621
	田んぼアートによる景観づくり事業	秋田内陸線沿線への田んぼアート設置、田植え体験モニター実施等	1,080
北秋田地域振興局 計			4,701
山本	白神山地観光推進事業	五能線全通80周年記念事業、観光情報発信強化、「あきた白神7サミット」スタンプラリー、周遊観光バス運行、登山・トレッキング商品の売り込み、JR東日本・青森県との共同による首都圏での白神山地出前講座開催等	5,056
山本地域振興局 計			5,056

	事業名	事業概要	予算額
秋田	観光資源の魅力アップ支援事業	地域食材を活用した加工食品等の開発・改良 アドバイザー派遣、女性目線に立ったランチ のスタンプラリー開催、観光案内人研修等	860
	おいでよ男鹿半島！魅力発信事業	首都圏での観光プロモーション、観光情報発信、 県境の道の駅等における誘客活動等	643
秋田地域振興局 計			1,503
由利	未来づくり協働プログラムによる広域観光支援事業	由利地域観光推進機構による旅行エージェントへのプロモーション、未来づくり協働プログラム支援、広域観光情報の発信等	1,632
	まるっと鳥海活性化推進事業	山形県庄内総合支庁と連携した情報発信、共同プロモーション等広域連携事業、隣県や首都圏での観光誘客キャンペーン等	1,555
	観光ビジネス展開支援事業	物販等ビジネス展開支援、由利地域の酒蔵のネットワーク化と集客イベントの実証等	534
由利地域振興局 計			3,721
仙北	国内外に向けた”秋田らしさ”発信強化事業	仙台圏・盛岡圏のメディア等への売り込み、旅行雑誌等へのPR広告、WEB活用観光・物産品情報発信、おすすめルートマップ作成等	1,831
	あなたの写真で秋田をPR事業	フォトコンテストを実施し、「ポスター素材」や「WEB素材」として活用等	185
	冬季誘客促進事業	小正月行事等を活用した仙台圏メディア招聘	271
	県内外で観光・物産をもっと直接売り込み事業	県南3地域振興局、市町、観光物産協会協働による仙台圏・首都圏での物産展開催等	1,647
	広域誘客促進事業	雫石地域や鹿角地域と連携した誘客促進事業、増田の蔵等との新たな広域連携の検討等	618
	田んぼアートによる景観づくり事業	内陸線田んぼアートの実施による観光誘客等	400
仙北地域振興局 計			4,952
平鹿	農産品類販路拡大支援事業	横手市、仙北・雄勝地域振興局と連携した観光物産展、首都圏・仙台圏でのマーケティングと情報発信、横手市・岩手県と連携した道の駅交流物産展、首都圏商談会への出展等	1,962
	機能合体による広域観光推進事業	「増田の町並み」を中心とした周辺観光地のモニターツアー、横手市未来プロと連動した増田まんが美術館所蔵作品の巡回展、増田の蔵の情報発信、県南周遊バス「蔵しっく号」運行支援、岩手県と連携した広域観光誘客等	1,484
平鹿地域振興局 計			3,446

	事業名	事業概要	予算額
雄勝	市町村との協働による広域観光推進事業	新聞雑誌やWEB、SNS等を活用した情報発信、「うどんEXPO」等を活用した広域観光物産キャンペーン、外国人等を対象とした体験型観光PR等	3,000
	県際連携及び県南地域振興局連携等による売込み強化事業	「最上・大崎・雄勝」連携によるエージェンツへの売り込み、観光物産PR、仙台圏等での県南3地域振興局連携による観光資源の売込みと情報発信等	1,895
雄勝地域振興局 計			4,895
地域振興局 合計			33,801

3 予算額

33,801千円

内 訳	・報償費 788千円 ・旅費 4,288千円 ・需用費 3,702千円 ・役務費 1,879千円 ・委託料 4,033千円 ・使用料及び賃借料 1,419千円 ・負担金補助及び交付金 17,692千円
-----	--

※ 地域振興局予算全体の合計は、76,000千円となっており、当部関係以外の地域振興局予算31,285千円及び振興局調整費10,914千円は、地域活力創造課へ計上されている。

観光宿泊施設等の改修支援等について

観光戦略課

1 民間観光宿泊施設魅力向上支援事業

(1) 目 的

「高質な田舎」や「みんなにやさしい観光あきたづくり」の具現化など、旅行者の多様なニーズや旅行形態の変化に対応した民間事業者の施設改修等を支援することにより、新たな顧客の獲得を促進するとともに、観光地としての満足度の向上を図る。

(2) 概 要

① 対象となる事業

ア 「高質な田舎」としての魅力をアピールしようとするもの

イ 高齢者、障がい者又はペット連れ旅行者の利便性及び満足度の向上を図るもの

ウ 外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図るもの

② 補助対象者

秋田県内において宿泊施設を所有又は運営する民間事業者等

③ 選考方法

企画案を公募し、専門家等による審査で補助事業者を選考

④ 採択件数・補助率

・採択件数 7 件程度

・補助率 補助対象事業費の 1 / 2 以内（補助金上限額 5 0 0 万円）

(3) 予算額

3 5 , 8 6 9 千円

内 訳	・ 報償費	1 6 0 千円
	・ 旅 費	4 5 6 千円
	・ 需用費	1 3 2 千円
	・ 役務費	2 1 千円
	・ 使用料及び賃借料	1 0 0 千円
	・ 負担金補助及び交付金	3 5 , 0 0 0 千円

2 観光施設魅力向上事業

(1) 目 的

県有観光施設の改修等を行うことにより、利用者の安全・安心の確保と満足度の向上等を図り、交流人口の拡大や県内観光流動を促進する。

(2) 概 要

① 観光施設等緊急改修事業 131, 116千円

ア 田沢湖スキー場 47, 844千円

銀嶺クワッド他4カ所のリフトの索受装置の摩耗が顕著であることから、改修を実施するとともに、黒森山リフト減速機等、オーバーホール時期を迎えた機器について整備を行う。

イ 秋田ふるさと村 31, 616千円

空調設備について、経年劣化により一部の送風機が運転不能となっているほか、自動制御機器が動作不安定になっているため、改修工事を行う。

ウ 十和田ホテル 16, 345千円

外壁塗装が経年により劣化していることから、改修工事を行う。

エ サンルーラル大潟 24, 109千円

排煙設備の手動開閉装置が動作不良となっているほか、屋根材やシーリング材の経年劣化により生じている雨漏りと落下を防止するため、改修工事を行う。

オ フォレスタ鳥海 6, 406千円

浴室吊り天井の金具等の一部が腐食等により落下していることから、改修工事を行う。

カ 秋の宮山荘 4, 796千円

宿泊棟3階の内装が、経年により傷みがひどいことから、改修工事を行う。

② 地域と協力した秋田ふるさと村魅力発信事業 2, 182千円

秋田ふるさと村において、各地域と協力した文化や芸能等の多様な魅力を発信する事業を実施する。

・委託予定先 (株)秋田ふるさと村

(3) 予算額 133, 298千円

① 観光施設等緊急改修事業 131, 116千円

内 訳	〔	・委託料	52, 632千円
		・工事請負費	78, 484千円

② 地域と協力した秋田ふるさと村魅力発信事業 2, 182千円 (委託料)

新たな観光客開拓推進事業について【新規】

観光戦略課

1 目 的

新たな手法やツールを活用し、観光客の開拓や旅行需要の拡大を図る。

2 概 要

(1) コンベンションによる観光振興促進事業 10,375千円

県内で開催されるコンベンションの経済波及効果を高めるため、コンベンション主催者が実施するエクスカーションなどを支援する。

① エクスカーション支援

一定規模以上のコンベンションに併せて実施されるエクスカーションに対し、バスの借り上げ費用の一部を補助する。

- ・対象経費 県内バス事業者が運行するバスの借り上げ費用
- ・補助率 定額（上限5万円／台）

② 歓迎プログラム支援

一定規模以上のコンベンションに併せ、本県の文化を発信する費用の一部を補助する。

- ・対象経費 県内の芸術文化団体等を活用した歓迎プログラム実施費用
- ・補助率 定額（上限10万円）

(2) 「ゲーム×自治体」観光誘客可能性調査事業 2,099千円

若者を中心とした観光客の誘客促進を図っていくため、位置情報と連動したスマートフォン向けゲームにより可能性を調査する。

- ・事業内容 県が設定するテーマに基づき、事業者が具体の提案を行い、そのイベントやストーリーの面白さにより、若者が県内各地を周遊する。
- ・採択件数 3件程度（公募し、企画提案により対象を選定）
- ・委託料 1件あたり600千円程度

3 予算額 12,474千円

(1) コンベンションによる観光振興促進事業 10,375千円

内 訳	・旅 費	92千円
	・需用費	283千円
	・負担金補助及び交付金	10,000千円

(2)「ゲーム×自治体」観光誘客可能性調査事業		2, 099千円
内 訳	・旅 費	113千円
	・需用費	50千円
	・委託料	1, 900千円
	・使用料及び賃借料	36千円

あきたびじょんブランド化推進事業について

あきたびじょん室

1 目 的

「あきたびじょん」で表現した秋田の統一したイメージ（高質な田舎）に基づき、様々な媒体により秋田の魅力をアピールし、秋田ファンの拡大を図るとともに、地域コンテンツを活用した新しい秋田の楽しみ方などを提案することにより、人の動きや流れを加速する。

2 概 要

(1) 魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大 33,396千円

① 各種PRの総合プロデュース 12,262千円

統一感のあるイメージで秋田の魅力を発信するため、アドバイザーによる各種PR事業に対する指導・助言等の総合的なプロデュースを行うほか、各種媒体などに合わせてインパクトあるデザインを制作する。

② ソーシャルメディアによる情報の交流 3,400千円

本県に関心を寄せる秋田ファンを増やすため、クオリティの高い画像や動画素材を収集・編集し、Facebook、Instagram、YouTubeなどのソーシャルメディアを活用し、秋田の旬の情報や魅力を発信し、情報交流を拡大する。

③ マスメディア・パブリシティの展開 5,000千円

全国ネットのテレビ番組や雑誌の記事等で広く新たな秋田の魅力や楽しみ方などを紹介してもらうため、PR会社を活用してマスメディアに対する広報活動（パブリシティ）を展開し、ロケや取材を誘致する。

④ 県ゆかりの人とのネットワークの活用 12,734千円

「あきた美の国大使」「あきた音楽大使」「秋田県PRメディアプロデューサー」など秋田ゆかりの人材を活用して、秋田の良さを再認識できるような映像等を制作するほか、大使等に県のイベントなどに参加してもらい秋田の魅力を発信する。

(2) WEBマガジンを活用した秋田の楽しみ方の提案【新規】 27,642千円

雑誌「のんびり」に代え、足元にある地域コンテンツの魅力を紹介しながら、新しい秋田の楽しみ方を提案するWEBマガジンを新たに制作し、スマホなどで手軽に見られるようにタイムリーに配信することにより、SNSによる読者の口コミを誘発し、秋田ファンの県内への誘導につなげる。

- ・地域コンテンツを巡る旅仕立ての記事（週間更新）のほか、著名なライターによる連載記事等も随時発行
- ・記事は文章、画像、動画、音声などで構成し、各種SNSとの連動可能
- ・読者ファンが集う交流会を県内で開催

OWEBマガジンの発行イメージ

		発行回数 等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
WEB マガジン	週刊記事	週1回			旅仕立ての記事を毎週更新。1つの旅(テーマ)が2ヶ月程度で完結。 ●●●●●●●●○○○○○○●●●●●●○○○○○○●●●●●●									
	月刊連載コラム	月1回			著名なライターによる通年連載。 ◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎									
	ゲスト寄稿	月1回			様々な分野の人気クリエイター(4名程度)による寄稿。 □□■●△△▲▲▲▲									
読者交流会の開催		年2回						★			★			
告知・PR		随時		チラン告知 WebやSNSで通年告知										

※チランは主に雑誌のんびり配布先(全国約2,600カ所)に送付

3 予算額

61,038千円

(1) 魅力発信と情報交流による秋田ファンの拡大

33,396千円

① 各種PRの総合プロデュース

12,262千円

内 訳	・ 報償費	100千円
	・ 旅 費	3,014千円
	・ 需用費	950千円
	・ 役務費	324千円
	・ 委託料	6,824千円
	・ 使用料及び賃借料	1,050千円

② ソーシャルメディアによる情報の交流

3,400千円

内 訳	・ 報償費	1,000千円
	・ 旅 費	210千円
	・ 需用費	100千円
	・ 役務費	990千円
	・ 委託料	900千円
	・ 使用料及び賃借料	200千円

③ マスメディア・パブリシティの展開

5,000千円
(委託料)

④ 県ゆかりの人とのネットワークの活用

12,734千円

内 訳	・ 報償費	248千円
	・ 旅 費	1,474千円
	・ 役務費	612千円
	・ 委託料	10,400千円

(2) WEBマガジンを活用した秋田の楽しみ方の提案

27,642千円

内 訳	・ 旅 費	188千円
	・ 役務費	300千円
	・ 委託料	27,154千円

観光連盟強化支援事業について

観 光 振 興 課

1 目 的

本県への観光誘客と地域主体の観光振興を促進するため、観光連盟が県の観光振興施策と連携・協働して行う、誘客宣伝活動や受入態勢の強化等の取組に対して支援を行う。

2 補助対象事業（主な取組）

（１）観光産業の形成 18,929千円

① 観光地づくりの促進 2,357千円

ア 観光地魅力アップ支援事業

複数の観光事業者等が連携のうえ、自ら企画実施する新たな取組に対し、経費助成、アドバイス等を行う。

イ 花まるっモニターツアー推進事業

着地型旅行商品開発、県内相互交流等を目指す地域と共同し、モニターツアーを実施する。

② 受入環境の充実 14,631千円

ア あきた旅のサポートセンター開設事業

高齢者や外国人等を対象に、観光地、宿泊施設等に係る情報発信、電話相談窓口を行う「あきた旅のサポートセンター（秋田バリアフリーツアーセンターを含む）」を開設する。

イ 受入態勢向上促進事業

全県を巡回調査し、事業者の実態把握、助言指導等を行うほか、接客現場の意識向上に向けた研修会を開催する。

ウ 秋田カンバン娘活用事業

観光の最前線でがんばる女性のパワーを集約し、秋田の「おもてなし力」向上を図るため、「秋田カンバン娘」によるPR活動等を行う。

エ 会員との連携による観光客受入態勢強化事業

NEXCO東日本、ヤマト運輸など会員企業と連携し、キャンペーンへの参加、新たな形態のサービス提供などを行う。

③ 人材育成 1,941千円

ア 「観光秋田未来塾」開設事業

国内外で活躍する講師を招き、設備投資・経営改善や誘客手法などについて、秋田にしながら最新の知識・動向を学ぶ経営者向けの講座を開設する。

イ 「秋田観光道場」開設事業

県内及び国内外の観光事情に精通した講師を招き、座談会形式の勉強会を開催する。

（２）ネットワークづくり 15,782千円

① 新たな視点に立った情報発信 2,241千円

ア テーマ性のある観光資料発行事業

県内各地域や会員施設等の新しい魅力を発信するため、県等との役割分担に基づき、テーマ別・ポケットサイズの観光資料を発行する。

② 県内流動や近隣県等の交流活発化 **7, 493千円**

ア 出前観光PR等推進事業

市町村や会員事業者が主催する県内外のイベント等に参画し、協働して観光PR等を行う。

イ 県内相互交流推進事業

県内観光地の知られざる魅力を共有し、口コミにより情報発信することで県内周遊を促すため、県北、中央、県南の事業者間で他地域の勉強会を開催する。

ウ 地域イベント連動型県内周遊促進事業

日本スポーツマスターズ2016秋田大会、第16回国際花火シンポジウムプレ大会など、広域的な集客が見込めるイベントと連動し、観光客の県内周遊を促すため、事前の周知、期間中のタイアップ活動等を行う。

③ 外国人観光客の誘致促進 **6, 048千円**

ア 訪日観光客誘客促進事業

県等が主催する誘客プロモーションへの協力、会員の商談会への参加促進、県内大学等と連携した口コミ情報の発信などに取り組む。

イ 訪日観光客受入態勢整備支援事業

マナーガイドの作成に取り組むほか、外国に対する情報発信、免税販売などに取り組む会員事業者をサポートする。

ウ 2020オリンピック・パラリンピックに向けた誘客強化事業

関係機関と連携した情報発信等を行うほか、「秋田バリアフリースーツアーセンター」を活用したパラリンピックの合宿誘致等の可能性を探る。

(3) 県を挙げた取組態勢の再構築 **2, 694千円**

① 観光連盟の組織機能強化 **2, 694千円**

ア 市町村協働推進事業

市町村職員の通年研修の受け入れを行い、地域と連携した情報発信、観光地づくり支援を学びながら実践する。

イ 各種協議会等連携事業

地域連携や官民共同で観光振興を進める県内外の協議会等に参加する。

3 補助対象事業費 **37, 405千円**

〔 県 補 助 金：24, 480千円
自 主 財 源：12, 925千円 〕

秋田の観光宣伝力強化事業について

観光振興課

1 目 的

今年3月の北海道新幹線開業など、本県の観光を取り巻く環境の変化に対応するとともに、次期観光キャンペーンの開催を見据え、地域の主体的な取組と連携しながら、テーマやターゲット等を絞り込んだ情報発信、誘客プロモーションを推進する。

2 概 要

(1)「秋田の観光創生推進会議」負担金

25,000千円

官民一体となって、テーマ別の観光コンテンツの発掘、磨き上げの実施や交通事業者等とのタイアップによるプロモーション事業を実施する。

○事業展開

ア アキタノ魅力発信強化事業

- ・ 駅媒体等活用宣伝広告（ポスター掲出、パンフレット設置等）
- ・ 首都圏等PR事業（首都圏での観光キャラバン等の実施）
- ・ 交通事業者等タイアップ情報発信（共同キャンペーン等）
- ・ 道路関係媒体活用宣伝広告（ポスター掲出、情報誌広告掲載等）
- ・ 旅行会社タイアップ旅行商品造成・販売促進（商品造成・広告支援等）
- ・ 各種メディア活用情報発信（旅行雑誌、業界紙等）

イ 観光力アップ推進事業

- ・ 地域観光力の醸成（おもてなし研修等）
- ・ 地域間連携等強化（観光地づくりのための研修や意見交換会等）

ウ 受入態勢整備事業

- ・ 歓迎ムード醸成（駅・空港の装飾等）
- ・ 域内交通アクセスの情報発信（二次アクセス等の情報発信）

<秋田の観光創生推進会議>

設 立：平成27年4月24日

会 員：100団体（県、市町村、観光関係団体、経済団体、マスコミ等）

事業期間：平成27年度～29年度

事業費：50,000千円／年間

※負担割合：県1／2、市町村1／4、各種団体・民間1／4

特 記：五能線開業80周年やJR東日本の重点販売地域指定に伴う観光プロモーション事業では、本会議の取組との連携強化により、県を挙げた取組としての相乗効果を図る。

(2) 教育旅行誘致事業

1,121千円

① 北海道教育旅行誘致事業

教育旅行誘致セミナーの開催及び学校・旅行会社訪問を実施する。

② 首都圏等教育旅行誘致事業

東京等での東北教育旅行誘致セミナーに参加する。

(3) 隣県情報発信事業

5, 484千円

隣県の新聞折込を活用した本県の観光情報発信や、県内の市町村、民間等との連携による観光PRイベント、高速道路サービスエリアでのリーフレット配布等を行う。

- ・実施地域 岩手県、山形県及び宮城県
- ・実施内容 新聞折り込み情報紙の配布、ショッピングモール等での観光PRイベントの実施、高速道路サービスエリアでの車利用者向けリーフレット配布

(4) 「秋田に行こう！」集中キャンペーン事業

42, 360千円

① 五能線開業80周年活用誘客促進事業

7, 934千円

平成28年7月の五能線開業80周年及びリゾートしらかみ新型車両「樰」の導入にあわせた誘客を図っていくため、沿線地域と連携しながら首都圏JR駅で記念イベントを開催するほか、中吊りポスター広告を掲出する。

【中吊りポスター広告】

- ・実施時期 平成28年7月

【記念イベント】

- ・実施場所 首都圏JR主要駅、秋田駅、能代駅
- ・実施時期 平成28年7月

< JR東日本の取組（予定） >

- ・リゾートしらかみ新型車両「樰」の営業運転開始
- ・開業80周年記念式典の開催
- ・沿線スタンプラリーの開催
- ・クイズラリーの開催 等

② 地域連携誘客促進事業

5, 411千円

首都圏JR駅で開催する「あきた観光産直市」や日本最大級の観光コンベンションである「ツーリズムEXPOジャパン」を活用して、秋田の観光PRを実施する。

【あきた観光産直市】

- ・実施場所 大宮駅、上野駅
- ・実施時期 大宮駅（6月、11月）、上野駅（10月）

【ツーリズムEXPOジャパン】

- ・実施場所 東京ビッグサイト
- ・実施時期 平成28年9月22日～25日

③ JR東日本重販活用PR強化事業

29, 015千円

平成29年4月から6月まで実施するJR東日本の重点販売地域指定に伴うキャンペーン用のガイドブックやポスターを製作するほか、オープニングイベントを開催する。

【ガイドブック】

- ・発行部数：30万部
- ・発行時期：平成29年2月

【ポスター】

- ・発行枚数：B0判 1,750枚 B1判 4,000枚
- ・発行時期：平成29年3月

【オープニングイベント】

- ・実施場所：首都圏主要駅周辺 等
- ・実施期間：平成29年3月

＜JR東日本重点販売地域指定＞

JR東日本と地元自治体等が協働で実施する観光キャンペーン。JR東日本の広告媒体の活用や旅行商品造成など、集中的な観光プロモーションを実施する。本県では平成26年10月以来の実施となる。

(5) 大規模イベント等を活用した観光PR事業（新規） 6,237千円

県が主催・共催する全国規模の大型イベントを活用して、観光パンフレット等を事前配布する。

- ・イベント：ねんりんピック秋田2017
日本スポーツマスターズ秋田大会

3 予算額 80,202千円

(1) 秋田の観光創生推進会議負担金 25,000千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 教育旅行誘致事業 1,121千円

①北海道教育旅行誘致事業 1,012千円

内訳	・旅費	326千円
	・役務費	6千円
	・委託料	670千円
	・使用料及び賃借料	10千円

②首都圏等教育旅行誘致事業 109千円
(旅費)

(3) 隣県情報発信事業 5,484千円

内訳	・旅費	160千円
	・需用費	240千円
	・役務費	84千円
	・委託料	5,000千円

(4) 「秋田に行こう！」集中キャンペーン事業 42,360千円

①五能線開業80周年活用誘客促進事業 7,934千円

内訳	・旅費	669千円
	・需用費	80千円
	・役務費	100千円
	・委託料	7,085千円

②地域連携誘客促進事業

内訳

- ・旅 費
- ・需用費
- ・役務費
- ・委託料

5, 4 1 1 千円
 9 8 0 千円
 6 0 6 千円
 1 7 2 千円
 3, 6 5 3 千円

③ J R 東日本重販活用 P R 強化事業

内訳

- ・旅 費
- ・需用費
- ・役務費
- ・委託料

2 9, 0 1 5 千円
 6 6 9 千円
 1 2 0 千円
 2 0 0 千円
 2 8, 0 2 6 千円

(5) 大規模イベント等を活用した観光 P R 事業

6, 2 3 7 千円
 (委託料)

「日ASEAN次官級交通政策会合」開催支援事業について【新規】

観光振興課

1 目 的

平成28年7月下旬に秋田市で開催される「日ASEAN次官級交通政策会合」に合わせて、歓迎レセプションやエキスカーション等を実施するほか、現地メディア等を招聘して本県を広くPRすることにより、ASEAN各国での認知度の向上を図る。

2 概 要

国土交通省と連携して、歓迎レセプションやエキスカーション等を実施するほか、現地メディア等を招聘して本県を広くPRする。

- ・開催日 平成28年7月下旬（3日間）
- ・開催地 秋田市内ホテル
- ・参加者 各国交通担当省次官級、ASEAN事務局等 50名程度
- ・視察内容 秋田内陸縦貫鉄道乗車体験
（予定） 五能線リゾートしらかみ新型車両「櫛」乗車体験
角館の武家屋敷視察
電気バス「ELEMOMO-AKITA」乗車体験 等

3 予算額

7,092千円

内訳	・旅費	525千円
	・委託料	6,567千円

※ASEAN加盟国（10カ国）

ブルネイ、カンボジア、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン
シンガポール、タイ、ベトナム、ラオス

<参考> 平成27年鹿児島県での開催状況

7月27日 歓迎セレモニー、県主催歓迎レセプション

7月28日 日ASEAN次官級交通政策会合（新規プロジェクト提案・成果報告）
北川副大臣主催レセプション

7月29日 エキスカーション（鹿児島市電・桜島フェリー 等）

アンテナショップ運営事業について

秋田うまいもの販売課

1 目 的

首都圏の方々に対し秋田を売り込むとともに、県内の市町村や農林・商工団体、県内事業者等が地域や県産品等に関する情報を受発信するための機会を提供するほか、バイヤー向け試飲・試食会や秋田の食のPRイベントを開催するなど、アンテナショップの情報受発信機能の充実や運営強化を図る。

2 概 要

67,783千円

(1) 店舗及び店舗前広場等を活用した情報の受発信の強化 7,698千円

- ・首都圏バイヤーを招聘した県産食材などの試飲・試食会（年3回）
- ・美彩館飲食スペースを活用した秋田の食や食文化などのPRイベント（年4回）
- ・店舗前の広場における物産・観光PRイベント（年3回）

(2) アンテナショップの運営強化 1,765千円

- ・アンテナショップ運営協議会への参加、衛生指導・衛生講習会の実施

(3) 店舗維持修繕費 1,288千円

(4) 店舗賃料 57,032千円

※運営事業者からは、店舗の賃料分として22,570千円を徴収している。

(参考) 【レジ通過客数、売上額】

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (H28.1月現在)
レジ通過客数(人)	6,858	142,833	139,854	136,194	138,931	143,270	159,317
売上額(千円)	10,910	265,239	277,028	274,806	293,341	296,073	292,014
(内訳) 物販	6,570	105,404	100,229	96,004	105,516	118,114	117,716
(内訳) 飲食	4,340	159,835	176,799	178,802	187,825	177,959	174,298

3 予算額

67,783千円

内 訳	・報償費	600千円
	・旅 費	3,508千円
	・需用費	1,730千円
	・役務費	2,463千円
	・委託料	2,430千円
	・使用料及び賃借料	57,052千円

県産品販路拡大対策事業について

秋田うまいもの販売課

1 目 的

商談会の開催やＪＲとの連携により食品事業者等への販促機会を提供するとともに、セミナー等の実施による販売力強化や消費者ニーズを反映させた商品開発を進め、県産品の販路拡大を図る。

2 概 要

(1) 商談会型プロモーション事業 15,109千円

県産食材マッチング商談会を秋田市と東京都で開催し、農産物から加工食品までの幅広い県産品の売り込みを図る。

① 県産食材マッチング商談会【県内】

- ・開催時期：平成28年7月（期間は2日間）
※1日目は会場での商談会、2日目に現地商談会を実施。
- ・会場：秋田テルサ体育館・講堂
- ・出展ブース：110ブース（事業者用ブース 100・PRブース 10）
- ・来場予定者：県内外のホテル・レストラン・飲食店のシェフ、購買担当、百貨店のバイヤー等 300人
- ・研修会：出展事業者を対象に成約率を高めるノウハウを習得する研修会を秋田市で開催（1回）

② 県産食材マッチング商談会【首都圏】

- ・開催時期：平成29年1月（期間は1日間）
- ・会場：秋葉原UDX（東京都秋葉原駅前）
- ・出展ブース：55ブース（事業者用ブース 50・PRブース 5）
- ・来場予定者：首都圏のホテル・レストラン・飲食店のシェフ、購買担当、百貨店や中小規模の小売店のバイヤー等 400人

(2) 販売力・商品力レベルアップ事業 6,776千円

セミナー等により食品事業者等の商談や販売スキルの向上を図るとともに、消費者ニーズに対応した新商品開発や販路拡大を促進する。

① 営業力向上アドバイザーによるスキルアップ

県内食品事業者等を対象に、商品力・営業力のスキルアップを図る。

- ・アドバイザー：流通分野専門家、商品開発専門家 各1名

② 特産品開発コンクールによる商品開発・販路拡大

新たな特産品を発掘するため、特産品開発コンクールを開催するとともに、受賞者には補助金を交付し、販路拡大のための支援を行う。

- ・受賞者への補助金：食品部門、工芸部門 金賞300千円 × 各1点

③ ＪＲと連携した販売力強化対策

秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろード）においてチャレンジマルシェ（地域特産品直売会）を開催し、販売上位商品については首都圏のＪＲとの連携イベントに出品し、テスト販売等の実施により商品の改良につなげていく。

3 予算額 21,885千円

（１）商談会型プロモーション事業 15,109千円

内 訳	・ 報償費	20千円
	・ 旅 費	719千円
	・ 需用費	74千円
	・ 役務費	41千円
	・ 委託料	14,158千円
	・ 使用料及び賃借料	97千円

（２）販売力・商品カレベルアップ事業 6,776千円

内 訳	・ 報償費	850千円
	・ 旅 費	2,527千円
	・ 需用費	40千円
	・ 役務費	62千円
	・ 委託料	2,284千円
	・ 使用料及び賃借料	413千円
	・ 負担金補助及び交付金	600千円

高品質販路開拓事業について【新規】

秋田うまいもの販売課

1 目 的

首都圏の百貨店や民間事業者と連携し、高品質な商品の開発やPR等を行うとともに、多様な流通チャネルの活用により県産品の販路開拓を図る。

2 概 要

(1) 百貨店連携型プロモーション事業 10,404千円

首都圏大手百貨店との連携により、そのブランド力と情報発信力を最大限に活かした県産食材プロモーションを展開し、県産食材の販路拡大を図る。

① 三越伊勢丹と取り組む新上質定番商品の開発 6,455千円

三越伊勢丹の新たな価値基準である「新上質定番」のコンセプト（いつも家庭にある×秋田にしかできない×利用シーンの幅が広い）に合致した秋田県産商品を、三越伊勢丹食品バイヤー、県内事業者とともに開発するほか、三越伊勢丹が主催する県内ツアーを活用した県産食材等のPRを行う。

・プロジェクト対象商品 4商品（県内4事業者）

（参考）三越伊勢丹との平成27年度における新上質定番の開発

ガラスープの素、業務用鶏スープ、白だし、冷凍手まり寿司の4商品を3月から三越伊勢丹基幹店（3店舗）で発売予定

② 西武池袋本店と取り組む新たなスタイルの秋田フェア 3,949千円

西武池袋本店のスイーツ、酒類、特産品、イートイン等の食品フロア全体を活用するほか、伝統工芸品の展示も行う秋田フェアを開催する。

○運営チームによるフェア企画（テーマ、取扱食材、告知手法）の検討（4回）

・西武食品バイヤー（池袋本店・秋田店）、西武スイーツアテンダント、営業力向上アドバイザー、県内事業者等による運営チーム

○秋田フェアの実施

・西武池袋本店食品フロアー（9月、1週間）

(2) 東京でのお土産開発支援事業 9,632千円

（株）生産者直売のれん会と連携し、県内事業者による東京で売れる新たなお土産の開発支援を行う。

① 首都圏駅ナカ販売事業者との連携による新たなお土産開発と販路開拓

9,200千円

○お土産開発支援事業者（補助対象者）の選定

○東京でのお土産品開発支援補助 1,000千円×3件

- お土産品の企画開発やパッケージデザイン等のアドバイス
- 駅ナカで商品のテスト販売を実施
- テスト販売実績報告書のとりまとめと今後の販路開拓等のアドバイス
 - ・委託先 (株) 生産者直売のれん会

② 事務費

432千円

(3) 民間事業者と連携した新たな販路開拓事業

7,222千円

多様なネットワークを保有する民間事業者((株)フードワークス)と提携して、秋田の食の売り込みや県産品の販路開拓を図る。

【(株)フードワークスが有するネットワーク網】

○自社の飲食店舗

[首都圏等45店舗] 和食14店舗、洋食4店舗、アジアン・中華16店舗、ファーストフード8店舗、惣菜店3店舗

[海外 2店舗] 銀座花蝶(シンガポール)、ベトナム花蝶(ベトナム)

○(株)フードワークスの取引先

[百貨店] 高島屋

[ホテル] リゾートトラスト(24施設)、プリンスホテル(55施設)

ダイワロイアル(28施設)

[カフェレストラン] サンマルク(536店舗)

【包括協定の締結】

平成28年3月末に(株)フードワークスとの「売り込み包括協定」を締結した上で、販路開拓を図っていく。

3 予算額

27,258千円

(1) 百貨店連携型プロモーション事業

10,404千円

内訳	・旅費	2,840千円
	・委託料	7,506千円
	・使用料及び賃借料	58千円

(2) 東京でのお土産開発支援事業

9,632千円

内訳	・旅費	315千円
	・需用費	60千円
	・役務費	22千円
	・委託料	6,200千円
	・使用料及び賃借料	35千円
	・負担金補助及び交付金	3,000千円

(3) 民間事業者と連携した新たな販路開拓事業

7, 222千円

内訳	・旅 費	839千円
	・需用費	360千円
	・役務費	60千円
	・委託料	5,963千円

大消費地販路開拓事業について【新規】

秋田うまいもの販売課

1 目 的

「アンテナショップの今後のあり方について」を踏まえ、民間事業者との連携などにより、県産品の認知度向上や県外への販路開拓を図る。

2 概 要

(1) 飲食店等連携売り込み強化事業

4, 547千円

首都圏の本県ゆかりの飲食店と連携し、イベントの開催や県産品のPR、観光情報の発信を行うなど、首都圏での秋田の売り込み強化を図る。

- ・連携する飲食店

アンテナ酒場（6事業者、12店舗）

※アンテナ酒場：首都圏等で県産食材を積極的に提供、使用する本県ゆかりの飲食店（席数概ね30席以上）

- ・事業内容

秋田フェアの開催、ガイドブックの作成、スタンプラリー など

- ・委託先

公募により選定（県内事業者）

(2) 関西及び九州地域売り込み強化事業

8, 463千円

関西及び九州地域において、県産品の販路拡大を図るため、バイヤー招聘による商品発掘や、百貨店、スーパーでの秋田フェア、日本酒・県産品の試飲試食会を開催する。

〈関西地区〉

大阪アンテナショップの運営事業者であった（株）大近と（株）秋田県物産振興会の取引ルートを活用して、県産品の販路拡大を図る。

- ・（株）大近スーパーでの秋田フェア（直営店20店舗）

- ・バイヤー招聘による関西で販売する新商品の発掘、アドバイス

- ・委託先 （株）秋田県物産振興会

〈九州地区〉

百貨店や福岡アンテナショップ内において、日本酒や県産品の試飲試食会を開催し、県産品の販路拡大を図る。

- ・百貨店での秋田フェア（年1回、3日間）

- ・アンテナショップでの試飲会（年2回、各2週間）

- ・委託先 （株）秋田県物産振興会

3 予算額

13,010千円

(1) 飲食店等連携売り込み強化事業

4,547千円

内 訳	・ 報償費	210千円
	・ 旅 費	708千円
	・ 需用費	192千円
	・ 役務費	98千円
	・ 委託料	3,327千円
	・ 使用料及び賃借料	12千円

(2) 関西及び九州地域売り込み強化事業

8,463千円

内 訳	・ 報償費	120千円
	・ 旅 費	1,403千円
	・ 需用費	100千円
	・ 役務費	470千円
	・ 委託料	6,355千円
	・ 使用料及び賃借料	15千円

総合食品研究センター施設・設備整備費について

秋田うまいもの販売課

1 目 的

県内企業の魅力ある商品開発への技術的支援や研究活動の円滑な推進を図るため、総合食品研究センターの研究・分析機器を整備する。

2 概 要

(1) 事業内容

総合食品研究センター中長期計画に基づく研究機器の整備を行う。

(2) 購入機器

32,445千円

① 食品中の生理機能性成分定量システム

11,880千円

・ワインや野菜類などの含有ポリフェノール類の一斉分析により抗酸化性機能の解析を行う機器。

② 元素分析装置

9,785千円

・清酒、味噌・醤油などの原料米や食品に含まれるタンパク質含有量を測定する機器。

③ 熱分析装置

5,940千円

・米菓生地のコメや、そば、大豆などに含まれるデンプンの消化性質を計測する機器。

④ 小型スプレードライヤー

1,799千円

・醤油やしょっつるなどの液体試料の粉末化に使用する機器。

⑤ 全自動精米機コントローラーユニット

2,654千円

・酒米用精米機の運転を自動制御する機器。

⑥ インクジェットプリンター

387千円

・技術成果等の広報資料を制作する機器。

3 予算額

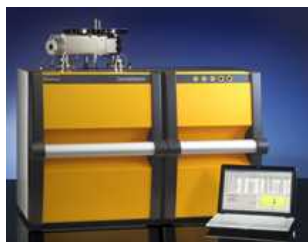
32,445千円

内 訳	・ 需用費	2,654千円
	・ 備品購入費	29,791千円

【参考 イメージ図】



①食品中の生理機能性
成分定量システム



②元素分析装置



③熱分析装置



④小型スプレー
ドライヤー

1 目 的

交流人口の拡大や、本県の産業・経済の活性化に必要な広域交通ネットワークを維持するため、航空会社と連携して空港利用を促進するとともに、秋田空港及び大館能代空港利用促進協議会並びに秋田県環日本海交流推進協議会を通じて実施する誘客促進策や情報発信等を充実・強化する。

2 概 要

(1) 広域交通ネットワーク誘客促進事業 9, 8 5 2 千円

① 大館能代空港利用促進事業 8, 8 0 0 千円

大館能代空港の利用促進のため、大館能代空港利用促進協議会と連携して、旅行商品の造成を支援するほか、企業の従業員等を対象とした誘客促進策を実施する。

ア 路線を利用する旅行商品の造成経費や貸切バス借上料への助成

- ・助成対象 大館能代空港を利用する旅行商品を造成する旅行会社
- ・造成経費 定額補助、上限 1 0 万円（ただし、内陸線等を利用する場合は 2 0 万円）
- ・貸切バス借上料 借上料の 1 / 2

上限 1 0 万円／台（県内に 1 泊）
上限 1 5 万円／台（県内に 2 泊以上）

イ 民間事業者を活用した誘客プロモーション

企業の福利厚生事業の代行を行う事業者の会報やホームページ上で、大館能代空港の周辺観光情報を盛り込んだ割引旅行商品等を掲載

ウ レンタカー利用促進キャンペーン

レンタカーを 1 泊以上利用する者に対し、利用日数に応じて空港ターミナルビルで利用できる利用券（2, 0 0 0 円～3, 0 0 0 円）をプレゼント

② フェリー秋田航路維持・誘客促進事業 1, 0 5 2 千円

フェリー秋田航路の利用促進のため、秋田県環日本海交流推進協議会と連携して、誘客促進策を実施する。

ア 誘客促進活動（就航地での P R イベントの実施等）

イ 航路を利用する旅行商品の造成経費への助成

- ・助成対象 フェリー秋田航路を利用する旅行商品を造成する旅行会社
- ・造成経費 定額補助、上限 5 万円

(2) 空港利用者拡大促進事業【新規】 2, 106千円

航空会社や市町村（横手市、美郷町）との連携により、地域資源を活用した旅行商品を造成するとともに、WEBサイトで重点的なPRを行い、誘客を促進する。

・PR期間 平成28年5月～7月

(3) 秋田空港利用促進協議会負担金 1, 030千円

秋田空港利用促進協議会へ負担金を拠出し、東京線の早朝便をはじめとした路線の利用促進策を展開する。

(4) 大館能代空港利用促進協議会負担金 2, 575千円

大館能代空港利用促進協議会へ負担金を拠出し、主として送客促進策を展開する。

3 予算額 15, 563千円

(1) 広域交通ネットワーク誘客促進事業 9, 852千円

(負担金補助及び交付金)

(2) 空港利用者拡大促進事業 2, 106千円

(役務費)

(3) 秋田空港利用促進協議会負担金 1, 030千円

(負担金補助及び交付金)

(4) 大館能代空港利用促進協議会負担金 2, 575千円

(負担金補助及び交付金)

奥羽・羽越新幹線整備促進事業について【新規】

交通政策課

1 目 的

奥羽・羽越新幹線の整備促進に向けて、市町村、関係団体等と意識の共有を図りながら、活動推進の体制づくり等を進め、県民一体となって取り組んでいくための機運を醸成する。

2 概 要

(1) 整備促進に向けた環境整備

785千円

ア 市町村、関係団体と整備に向けた機運の醸成方法や課題等についての研究会の開催

イ 県民参加型のシンポジウムの開催

ウ 県、市町村、関係団体等からなる奥羽・羽越新幹線早期整備期成同盟会（仮称）の設立

エ 関係各県と連携を図るための担当課長による検討会の実施

(2) PR・広報活動や整備促進のための要望活動の実施

450千円

県民運動としての機運の醸成を図るため、パンフレットを作成して広報活動を行うほか、国、J R 東日本等への要望活動を実施する。

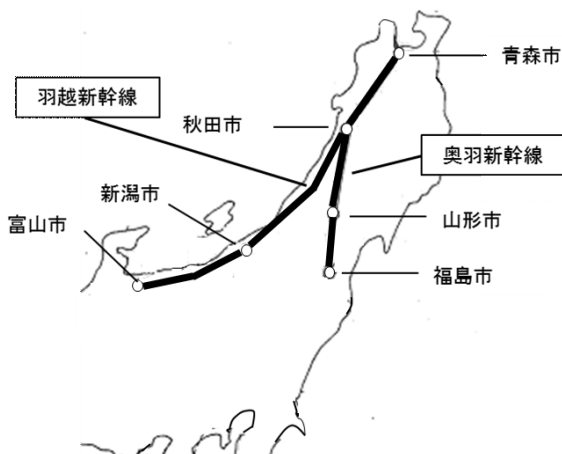
3 予算額

1,235千円

内 訳	報償費	200千円
	旅費	328千円
	需用費	338千円
	役務費	21千円
	使用料及び賃借料	348千円

【参考】奥羽・羽越新幹線路線図及び基本計画

○路線図（イメージ）



○昭和48年11月15日 運輸省告示第466号
による基本計画

（奥羽・羽越新幹線部分抜粋）

路線名	起点	終点	主な経過地
羽越新幹線	富山市	青森市	新潟市附近 秋田市附近
奥羽新幹線	福島市	秋田市	山形市附近

【奥羽新幹線建設促進同盟会 平成27年度総会資料から作成】

バス関連予算について

交通政策課

1 目 的

地域住民の生活に必要不可欠なバス路線等の運行を確保するとともに、地域公共交通の潜在的な需要を掘り起こし、人口減少社会においても持続可能な地域公共交通網を形成する。

2 概 要

(1) 地方バス路線維持事業 98,925千円

広域的・幹線的な生活交通バス路線を維持するため、国と協調してバス事業者に対し運行費等を助成する。

- ・補 助 率 国1/2（会社への直接補助） 県1/2
- ・補助対象 運行経費：対象路線 22系統
車両減価償却費等：対象車両 バス車両1両

(2) 生活バス路線等維持事業 179,796千円

地域内の生活交通を確保するため、県が市町村に対して運行費等を助成する。

① 生活バス路線等維持費補助金 71,140千円

市町村が助成している生活バス路線の運行経費に対して、県が助成する。

- ・補 助 率 県1/2、3/8、1/8（平均乗車密度※により3段階）
- ・補助対象 運行経費：対象路線 90系統
- ※ 起点から終点まで平均して乗客が何人いるかを算出した数値

② マイタウン・バス運行費等補助金 70,918千円

市町村が運営しているコミュニティバス等の運行経費等に対して、県が助成する。

- ・補 助 率 県1/2、1/4（平均乗車密度により2段階）
- ・補助対象 運行経費：対象路線 119系統
車両購入費：対象車両 バス車両1両、普通自動車1両

③ 地域内フィーダー系統確保維持費補助金【新規】 37,738千円

市町村が運営又は助成している地域内フィーダー系統について、対象路線の補助対象経費に1/2を乗じた額より当該市町村の国庫補助上限額が下回った場合、その差額を県が助成する。

- ・補 助 率 定額
- ・補助対象 7市（89系統）

(3) 新たな地域公共交通推進モデル事業【新規】

1, 400千円

公共交通の利用促進に向けて、民間団体等が新たに取り組む公共交通への付加価値や後押しとなる事業に対して支援する。

種 別	補助額等	事業例
I 民間団体支援型	・補助額：定額 上限200千円(2件) ・補助対象： NPO法人、自治会、 任意団体等	・学生等の視点による公共交通活性化の企画 ・自治会運営によるデマンド型タクシーの導入
II 市町村・交通事業者等支援型	・補助額：定額 上限500千円(2件) ・補助対象： 市町村、活性化法定協議会、バス事業者	・路線バスによる酒蔵等をめぐるモデルプランの作成 ・児童生徒を対象としたモビリティマネジメントの実施

3 予算額

280, 121千円

(1) 地方バス路線維持事業

98, 925千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 生活バス路線等維持事業

179, 796千円
(負担金補助及び交付金)

(3) 新たな地域公共交通推進モデル事業

1, 400千円
(負担金補助及び交付金)

(1) 地方バス路線維持事業（国と協調補助）

【対象】 幹線（例：本荘秋田線など都市間を結ぶ路線）

【要件】 民間バス事業者が運営
一定以上の輸送量（平均乗車密度×1日運行回数≥15人）

【補助率】 1／2



大

(2) ① 生活バス路線等維持費補助金

【対象】 支線（幹線以外の路線。例：秋田駅を起点とする市内路線）

【要件】 民間バス事業者が運営
市町村が運行費を助成
平均乗車密度
市町村内運行 3人以上
複数市町村間運行 1人以上

【補助率】 平均乗車密度 5人以上 1／2
5人未満 3人以上 3／8
3人未満 1人以上 1／8



(2) ③ 地域内フィーダー系統確保維持費補助金

【新規】

【対象】 支線

【要件】 国の地域内フィーダー系統補助の対象※となるもの

【補助率等】 補助対象経費の
1／2と国補助上限額の差額



輸送量

小

(2) ② マイタウン・バス運行費等補助金

【対象】 支線

【要件】 市町村が運営
（民間路線バス撤退後の代替交通等）

【補助率】 平均乗車密度 1人以上 1／2



平成31年度までの措置



※国補助の要件：幹線に接続し、かつ新規に運行を開始するもの

秋田内陸縦貫鉄道関連予算について

交通政策課

1 目 的

秋田内陸線の持続的運行のため、会社経営の安定化と安全運行の確保に加え、利用促進に向けた取組を引き続き進めていく。

2 概 要

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 174,215千円

鉄道の安全対策等に係る施設改修等に対し国と協調して助成する。

・整備内容 レール交換、枕木交換、軌道整備、車両検査等

・負担割合 国1/3(※)、県1/3、基金1/3

※会社への直接補助

(2) 第三セクター鉄道設備整備事業 27,031千円

鉄道橋梁の長寿命化等を図るため、橋梁の修繕や補強に対し助成する。

・対象箇所 双子沢橋梁ほか2橋の補修

・負担割合 国1/3、県1/3、基金1/3

(3) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 373千円

鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため、基金運用益(受取利息)を基金に積み立てる。

(4) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円

会社運営に必要な費用の一部を助成する。

・負担割合 県:0.5億円、2市:1.5億円

(5) 第三セクター鉄道利用促進事業 4,846千円

① 三セク鉄道利用促進事業 3,446千円

県市協働組織「秋田内陸活性化本部」を事務局とする協議会への負担金。

イベントPRやマスコミを活用した利用促進事業などを展開する。

② 「秋田内陸線の旅」制作事業 1,400千円

内陸線沿線の観光・食・イベント情報等を掲載したパンフレットを、沿線市及び大館市、弘前市と連携して作成する。パンフレットはJR東日本と連携し、首都圏JR駅等に配置する。

3 予算額 256,465千円

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 174,215千円 (負担金補助及び交付金)

(2) 第三セクター鉄道設備整備事業 27,031千円 (負担金補助及び補助金)

(3) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金		373千円 (積立金)
(4) 地方鉄道運営費補助事業		50,000千円 (負担金補助及び交付金)
(5) 第三セクター鉄道利用促進事業		4,846千円
内 訳	・旅 費 262千円 ・負担金補助及び交付金 4,584千円	

由利高原鉄道関連予算について

交通政策課

1 目 的

鳥海山ろく線の持続的運行のため、会社経営の安定化と安全運行の確保に加え、利用促進に向けた取組を引き続き進めていく。

2 概 要

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 32,002千円

鉄道の安全対策等に係る施設改修等に対し国と協調して助成する。

- ・整備内容 防雪柵設置、道床交換、車両検査等
- ・負担割合 国1/3 (※)、県1/3、基金1/3
※会社への直接補助

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 106千円

鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため、基金運用益（受取利息）を基金に積み立てる。

(3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円

会社運営に必要な費用の一部を助成する。

- ・負担割合 市：会社に対し、27年度経常損失見込額（80,000千円）を補助
県：市に対し、市の負担額の1/4以内かつ18,000千円を上限に補助

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業

三セク鉄道利用促進事業

1,000千円

県、市、会社、商工会等で構成する「鳥海山ろく線運営促進連絡協議会」へ負担金を拠出し、首都圏等での誘客活動を強化する。

3 予算額 51,108千円

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 32,002千円 (負担金補助及び交付金)

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 106千円 (積立金)

(3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円 (負担金補助及び交付金)

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 1,000千円 (負担金補助及び交付金)

文化による地域の元気創出事業について

文化振興課

1 目 的

平成27年3月策定の「あきた文化振興ビジョン」に基づき、地域の文化資源を活用した文化事業を実施するほか、特色ある文化事業を展開する文化団体の取組に対する支援などを通じ、文化の力で秋田の元気創造を図っていく。

2 概 要

(1) あきたアートプロジェクト事業 3, 536千円

秋田市中心市街地において、アートと音楽の力で地域の活性化を図る事業を実施する。

①あきたの美術 1, 536千円

県内の若手作家から美術指導者など、様々なアーティストの優れた作品を集めた展覧会を開催し、県民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供する。

・実施期間 平成28年10月29日(土)～11月6日(日)

・場 所 県立美術館県民ギャラリー

②音楽によるにぎわいづくり 2, 000千円

秋田駅周辺、エリアなかいち、大町等の約12カ所を会場に、ジャズ、ポップス、ロック、吹奏楽、合唱、民謡など、プロ・アマ問わず様々なジャンルで開催される大規模屋外音楽イベント「Akita Music Festival 2016」を支援する。

・実施期間 平成28年9月上旬

・場 所 エリアなかいちほか

・実施主体 Akita Music Festival実行委員会

・事業費 7, 000千円

・補助額 2, 000千円

(2) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 40, 000千円

「第1回石井漠・土方巽記念国際ダンスフェスティバル」を開催し、海外から招へいする舞踊・舞踏家と県内の舞踊団体による公演等を行い、ダンスの聖地秋田を目指しながら、世界へ発信する。

・実施期間 平成28年10月～11月

・場 所 秋田市文化会館ほか

・実施主体 石井漠・土方巽 国際ダンスフェスティバル実行委員会

・事業費 60, 000千円

・負担内訳 県10, 000千円、国30, 000千円、
秋田市5, 000千円、その他15, 000千円

(3) 秋田の文化を築いた先人に光をあてる事業 5, 000千円

秋田の先人の偉業をテーマにしたミュージカル「石川理紀之助(仮称)」を公演し、県内の子どもたちをはじめとした多くの県民に質の高い舞台芸術に触れる機会

を提供することで、郷土への誇りや愛着、本県文化への理解を深める。

- ・実施期間 平成28年11月～平成29年2月
- ・場 所 にぎわい交流館3階多目的ホール
- ・実施主体 ミュージカル「石川理紀之助」公演実行委員会（仮称）
- ・事業費 88,788千円
- ・負担内訳 県5,000千円、国43,788千円、
秋田市5,000千円、その他35,000千円

（４）文化による地域の元気創出事業補助金 **15,120千円**

国民文化祭の成果を継承し、さらに文化団体の活動の活発化を図るため、文化団体等が実施する地域の文化資源を活かした交流人口の拡大に資する取組や、芸術性に富んだ特色ある取組を支援し、地域の活性化につなげていく。

①補助対象事業

- ・東北規模、全国規模の文化事業
- ・交流人口の拡大に資する文化事業
- ・伝統と現代の融合など、異なるジャンル間の連携事業
- ・芸術性に富んだ特色ある文化事業 等

②補助対象事業者

文化団体等

③補助額

補助率：2／3（一団体あたり補助額 概ね100～300万円）

（５）県・市連携による地域文化発信事業【新規】 **78,653千円**

市町村との協働により、地域の文化資源を活用した交流人口の拡大を図っていくことで、地域の活性化につなげる取組を推進する。

①「新・秋田の行事（仮称）」開催事業 **63,555千円**

本県を代表する伝統芸能が一堂に会し、披露することにより、伝統芸能や伝統行事を次世代に伝えていくとともに、地域の活力創造を図っていく。

- ・実施期間 平成28年10月29日（土）～30日（日）
- ・場 所 大館市
- ・実施主体 「新・秋田の行事」実行委員会（仮称）
- ・事業費 80,000千円
- ・負担内訳 県20,000千円、国40,000千円、
大館市10,000千円、協賛金等10,000千円

②国際花火シンポジウム開催支援事業 **10,000千円**

平成29年4月開催予定の国際花火シンポジウムに向けて、平成28年度に実施する開催1年前プレイベントに要する経費の一部を支援する。

- ・実施期間 平成28年4月29日（金・祝）
- ・場 所 大仙市
- ・実施主体 国際花火シンポジウム実行委員会（仮称）
- ・事業費 57,024千円
- ・負担内訳 県10,000千円、国28,511千円、
大仙市18,513千円

第16回国際花火シンポジウム

○日 程 平成29年4月24日（月）～29日（土）

○概 要

- ・世界各国の花火関係者（研究者、製造業者、花火イベントのプロモーター等）が一堂に会する国際会議である。概ね2年に1度開催され、カナダにある「国際花火シンポジウム協会（ISFS）」が運営する。
- ・花火に関する技術や安全性・芸術性の研究発表（シンポジウム）、花火関係者による新商品の発表・商談（トレードショー「見本市」）、現地実行委員会が観光ツアーを実施し、連日花火を打ち上げる予定である。
- ・海外からのシンポジウム参加者は、400～500名、家族を含め600～700名を想定している。

③にかほ市プロジェクト支援事業

5,098千円

にかほ市出身の木版画家池田修三の展覧会を首都圏で開催し、「秋田のたから」を全国に発信するとともに、地元象潟において市内50箇所程度を会場とする「象潟まちびと美術館」を開催する。

- ・実施期間 平成28年4月～12月
- ・場 所 にかほ市
- ・実施主体 にかほ市プロジェクト実行委員会（仮称）
- ・事業費 20,000千円
- ・負担内訳 県5,000千円、国10,000千円、にかほ市5,000千円

3 予 算 額

142,309千円

（1）あきたアートプロジェクト事業

3,536千円

内 訳	・報償費、旅費、需用費、役務費	1,371千円
	・使用料及び賃借料	165千円
	・負担金補助及び交付金	2,000千円

（2）舞踊・舞踏フェスティバル開催事業

40,000千円

（負担金補助及び交付金）

（3）秋田の文化を築いた先人に光をあてる事業

5,000千円

（負担金補助及び交付金）

（4）文化による地域の元気創出事業補助金

15,120千円

内 訳	・報償費、旅費、需用費	120千円
	・負担金補助及び交付金	15,000千円

（5）県・市連携による地域文化発信事業

78,653千円

内 訳	・共済費、賃金	1,928千円
	・旅費、需用費、役務費等	1,604千円
	・使用料及び賃借料	121千円
	・負担金補助及び交付金	75,000千円

文化施設整備推進事業について

文化振興課

1 目 的

本年度策定する整備方針を踏まえ、現況測量調査を実施した上で、具体的な施設機能や施設配置案、整備スケジュールなどで構成する整備計画を取りまとめる。

2 概 要

(1) 現況測量調査

3, 593千円

施設配置案の作成に向けて、建設候補地である県民会館所在地の測量を実施する。

(2) 整備計画の策定

7, 128千円

- ① 県・市が公募型プロポーザル方式により事業者を選定
- ② 事業者原案をベースに県市が調整し整備計画素案を策定する。これをもとに県北、中央、県南地区での県民との意見交換会や文化団体等の意見聴取を実施
- ③ 意見聴取等を踏まえ、平成28年9月議会に整備計画（案）を示す。

(3) 推進事務費

1, 152千円

国との打ち合わせや文化団体等との意見交換に要する旅費、資料作成等。

〈整備計画の主な内容〉

- 主な施設の具体的な内容
- 主な施設の配置案
- 整備スケジュール
- 概算事業費
- 整備手法や運営管理のあり方 等

3 予算額

11, 873千円

(1) 現況測量調査

3, 593千円

(委託料)

(2) 整備計画の策定

7, 128千円

(委託料)

(3) 推進事務費

1, 152千円

内 訳

- | | |
|---------------|-------|
| ・ 報償費 | 30千円 |
| ・ 旅費 | 987千円 |
| ・ 需用費、食糧費、役務費 | 135千円 |

※ 現況測量及び整備計画策定業務委託に要する経費は、秋田市も同額を予算計上している。

秋田のトップスポーツチーム応援事業について

スポーツ振興課

1 目 的

県内のトップスポーツチームへの支援による本県の情報発信、にぎわいの創出を図るため、各チームのユニフォーム等への本県キャッチフレーズの掲出による情報発信事業等を行う。

2 概 要

(1) トップスポーツチームを活用した情報発信事業 30,332千円

① 各チームのユニフォーム等による本県の情報発信 29,000千円

各チームのユニフォームや試合会場等に本県のキャッチフレーズ等を掲出することにより、県内外に本県の情報発信を行う。

【対象チーム】

- ・秋田ノーザンハピネッツ 11,000千円
- ・ブラウブリッツ秋田 11,000千円
- ・秋田ノーザンブレッツ 7,000千円

② TKbjリーグ有明ファイナルズ応援・情報発信事業 1,332千円

TKbjリーグ有明ファイナルズ会場において、秋田県ブースを出展し、秋田県の情報発信を行う。

(2) 秋田ノーザンハピネッツホームアリーナ整備支援事業【新規】180,000千円

男子プロバスケットボール新リーグ（Bリーグ）1部に参入する秋田ノーザンハピネッツのホームアリーナとなる秋田市立体育館について、秋田市が行う整備を支援する。

- ・整備主体 秋田市
- ・整備内容 手動式移動仮設席購入、ピロティ等改修
- ・総事業費 360,000千円
- ・補助率 1/2
- ・補助上限 180,000千円

※1部参入要件を満たすためのホームアリーナ席（5,000席）内訳

固定席	2,468席
手動式移動仮設席	1,680席
その他（アリーナ席・立見席）	852席
合 計	5,000席

3 予算額		210,332千円
(1) トップスポーツチームを活用した情報発信事業		30,332千円
内 訳	・ 報償費 40千円 ・ 旅費 292千円 ・ 需用費 190千円 ・ 委託費 810千円 ・ 負担金補助及び交付金 29,000千円	
(2) 秋田ノーザンハピネッツホームアリーナ整備支援事業		180,000千円
		(負担金補助及び交付金)

スポーツ王国創成事業について

スポーツ振興課

1 目 的

「スポーツ立県あきた」を推進するため、各競技団体の選手強化対策を支援するとともに、ジュニア期からの一貫指導体制の確立を目指すことにより、本県スポーツの競技力向上を図る。

2 概 要

(1) スポーツ王国づくり強化事業 212,357千円

① 選手強化対策等への支援 110,000千円

競技団体が実施する選手強化対策に対して助成する。なお、平成28年度から、17競技団体に対して重点的な支援を行う。

・補助対象 県内41競技団体

② スポーツ医科学サポート 18,250千円

選手に対する医科学サポートを県スポーツ科学センターにおいて実施する。

③ 競技力向上対策の実施 84,107千円

選手の育成・強化のための諸施策や競技団体への指導など、県体育協会と連携した競技力向上対策等を実施する。

・委託及び助成先（予定） (公財) 秋田県体育協会

(2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 6,353千円

オリンピック等で活躍できるトップアスリートを輩出するため、ジュニア期から優れた素質を有する選手の発掘を行い、中央競技団体と連携しながら一貫指導による育成・強化を実施する。

・対象競技 フェンシング、スピードスケート、ライフル射撃

(3) ジュニアアスリート強化事業 63,723千円

① ジュニア期からの一貫指導体制の構築 27,723千円

県体育協会へのジュニア育成アドバイザーの配置（2名）や、各競技団体が実施するジュニア強化事業に対する助成（34競技団体）のほか、中学生強化選手に対する高等学校強化拠点校と連携した強化練習や研修の実施により、ジュニアアスリートの資質や競技力の向上を図る。

② 高等学校強化拠点校への支援 36,000千円

高等学校強化拠点校が実施する強化練習・合宿や、競技団体と連携した合同練習などに対して助成する。

・高等学校強化拠点校 15競技延べ20校

3 予算額 282,433千円

(1) スポーツ王国づくり強化事業 212,357千円

内 訳	・人件費	6,585千円
	・報償費	3,660千円
	・旅費	3,684千円
	・需用費等	4,321千円
	・委託料	79,807千円
	・負担金補助及び交付金	114,300千円

(2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 6,353千円

内 訳	・報償費	480千円
	・旅費	4,692千円
	・需用費等	1,181千円

(3) ジュニアアスリート強化事業 63,723千円

内 訳	・委託料	10,243千円
	・負担金補助及び交付金	53,480千円

県有体育施設整備・改修事業について

スポーツ振興課

1 目 的

県有体育施設について、利用者の安全・安心を確保するとともに、各種競技大会の開催に支障を来さぬよう施設・設備の整備・改修を実施する。

2 概 要

- | | |
|--|----------|
| (1) 県有体育施設整備・改修事業 | 46,050千円 |
| ① 県立総合プール設備更新 | 14,845千円 |
| 不具合が生じている入退場管理システムを更新する。また、競技規則の改正に伴いバックストロークデバイス（背泳ぎ用のスタート台装置）を整備する。 | |
| ② 県立スケート場冷凍機エンジン補修 | 10,064千円 |
| 部品の経年劣化が生じている冷凍機のエンジン全6機のうち2機のオーバーホールを行う。
(平成27年度1機オーバーホール済み) | |
| ③ 県立総合射撃場射撃的昇降機改修 | 2,137千円 |
| ライフル射撃場の標的を設置するための昇降機が腐食し、機器落下の恐れがあることから、全26台のうち11台を改修する。
(平成27年度15台改修済み) | |
| ④ 排除汚水量用水道メーター更新 | 4,956千円 |
| 総合プール等の下水道料金算出用水道メーターが計量法に規定されている有効期間を経過することから、全10個（総合プール6、武道館2、野球場2）を更新する。 | |
| ⑤ 県立武道館屋内相撲場土俵改修 | 5,578千円 |
| ひび割れや凹凸が生じている土俵を改修する。 | |
| ⑥ 大湊村漕艇場艇庫用地買収 | 4,369千円 |
| (公社)秋田県農業公社より借用している艇庫敷地について、借用期間満了に伴い当該地を買収する。 | |
| ⑦ 県有体育施設備品更新 | 4,101千円 |
| 耐用年数が経過した備品を更新する。(野球場整備用トラクター1台、体育館養生マット10枚・卓球台5台、スポーツ科学センターエアロバイク2台) | |
| (2) 県有体育施設基幹設備改修事業 | 72,220千円 |
| ① 県立総合プール軒天井補強 | 13,059千円 |
| メインプールの軒天井について、アルミパネルを止めているビスの劣化によりパネル落下の危険が生じていることから、落下防止のため補強工事を行う。 | |

- ② 大館樹海ドーム煙突修繕 48,092千円
ディーゼル発電機及び暖房用ボイラーの排気設備である煙突について、内部の断熱材が剥がれ落ち、排気に支障が生じていることから、修繕工事を行う。

- ③ 大館樹海ドーム外部斜柱改修 11,069千円
ドームを支える主要構造物である外部斜柱表面に落雪・雨水によるひび割れ等が発生していることから、全86本のうち23本を改修する。
(平成27年度40本改修済み)

(3) 県立野球場大規模改修事業 12,250千円

- ① 観客席膜屋根鉄骨塗装工事設計業務委託 7,123千円
内野観客席膜屋根の鉄骨塗装（耐火性フッ素塗装）が複数箇所で剥がれ落ち、鉄骨に錆が生じていることから、塗装の落下防止及び鉄骨の腐食防止のため、塗装工事に向けた設計を行う。
(平成29年度工事予定)

- ② グラウンド改修工事測量設計業務委託 5,127千円
土、天然芝、人工芝に排水不全や凹凸、へたりが生じていることから、全面的な改修工事に向けた測量及び設計を行う。
・内野土更新
・外野天然芝更新
・内野フェールゾーン人工芝更新
(平成29年度工事予定)

3 予算額 130,520千円

(1) 県有体育施設整備・改修事業 46,050千円

内 訳	・委託料	9,796千円
	・工事請負費	22,381千円
	・備品購入費	10,452千円
	・公有財産購入費	3,421千円

(2) 県有体育施設基幹設備改修事業 72,220千円

内 訳	・委託料	2,975千円
	・工事請負費	69,245千円

(3) 県立野球場大規模改修事業 12,250千円
(委託料)

2020プロジェクト推進事業について

スポーツ振興課

1 目 的

2020東京オリンピック・パラリンピックや2019ラグビーワールドカップ等に
参加する国内外選手団の本県への事前合宿招致に向け、日本オリンピック委員会（JOC）等の関係団体や県内市町村と連携し、誘致プロモーション等を実施する。

2 概 要

（1）2020プロジェクトチーム活動費 13,683千円

JOC等関係団体からの情報収集や県内市町村との連絡調整を行うとともに、コ
ネクションを活用し、タイのバドミントンやフィジーのラグビーなど事前合宿誘致
に向けたプロモーションを展開する。

（2）オリンピック・ムーブメント啓発事業 5,886千円

オリンピックによる県内中学生対象の教室を開催し、オリンピック・ムーブメント
を推進するとともに、誘致ターゲット競技を主とした国内トップスポーツ大会の開
催を支援し、2020東京オリンピック・パラリンピック大会への機運醸成を図る。

3 予算額 19,569千円

（1）2020プロジェクトチーム活動費 13,683千円

内 訳	・ 報償費	400千円
	・ 旅 費	8,183千円
	・ 委託料	5,000千円
	・ 負担金補助及び交付金	100千円

（2）オリンピック・ムーブメント啓発事業 5,886千円

内 訳	・ 報償費	280千円
	・ 旅 費	106千円
	・ 負担金補助及び交付金	5,500千円

（参 考） H27年度の実績

- ・ タイバドミントンチーム（U-17）のプレ合宿の受入
- ・ タイバドミントン協会との継続的な交流に関する基本合意の締結
- ・ 県と美郷町の共同申請によるホストタウン登録
- ・ 女子ラグビーセブンズ競技全国大会の開催支援
- ・ オリンピック教室の開催（中学校5校・・・神代、桧木内、五城目第一、比内、横手北）

日本スポーツマスターズ２０１６秋田大会開催事業について【新規】

スポーツ振興課

１ 目 的

競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの全国大会である「日本スポーツマスターズ２０１６秋田大会」を開催し、全国から来県する約８０００人の選手・役員に対し、秋田の魅力を売り込むとともに、スポーツによる交流人口の拡大により地域活性化を図る。

２ 概 要

実施主体となる実行委員会の開催経費を負担をする。

３ 実施主体

「日本スポーツマスターズ２０１６秋田大会実行委員会」

構成団体：（公財）日本体育協会、秋田県、（公財）秋田県体育協会、
県競技団体、開催市町、その他関係団体

４ 予算額

３０，９７６千円

（負担金補助及び交付金）

（総事業費：３２，４７６千円、うち県３０，９７６千円、日体協１，０００千円、県体協５００千円）

※大会総事業費

各競技の実施は、実行委員会事業とは別に、各競技団体が（公財）日本体育協会助成金や大会参加料、企業等協賛金等により行うが、これを含めた総事業費は約２億１千万円となる見込みである。

５ 支出内訳（実行委員会事業）

競技会運営助成費	１１，４１０千円	
広報宣伝費	６，４２２千円	
前夜祭・おもてなし費	６，５３４千円	
スポーツ教室等開催費	６，２４７千円	
日韓交流スポーツ事業費	６９１千円	
総務費等	１，１７２千円	計３２，４７６千円

大会日程と会場一覧

競技名		競技日程					会 場	開催地
		9 月						
		23	24	25	26	27		
		金	土	日	月	火		
開会式（前夜祭）		△					秋田キャッスルホテル	秋田市
サッカー	男		○	○	○	◎	男鹿総合運動公園陸上競技場	男鹿市
			○	○	○	◎	男鹿総合運動公園球技場	
			○	○	○		船川港金川多目的広場球技場	
テニス	男女		●	○	○	◎	秋田県立中央公園テニスコート	秋田市
バレーボール	男		●	○			秋田県立中央公園トレーニングセンター	秋田市
			○	○			秋田テルサ	
			○				雄和体育館	
					○	◎	CNAアリーナ★あきた （秋田市立体育館）	
	女		●	○	○	◎		
			○				河辺体育館	
			○	○			ノースアジア大学内体育館	
バスケットボール	男		○	○	○	◎	秋田県立体育館	秋田市
			○	○	○		茨島体育館	
			○	○	○		秋田市北部市民サービスセンター	
	女		○	○	○	◎	三種町琴丘総合体育館	三種町
			○				三種町山本体育館	
自転車競技	男女	▲	●	◎			美郷町自転車競技場	美郷町
ソフトテニス	男女		●	○	◎		高館テニスコート	大館市
軟式野球	男		○	○	◎		グリーンスタジアムよこて	横手市
			○	○	○		平鹿野球場	
			○	○			スタジアム大雄	
			○	○			大森野球場	
			○				大仙市営大曲球場	大仙市
			○				大仙市営仙北球場	
ソフトボール	男		○	○	○	◎	矢島多目的運動広場・矢島ソフトボール場	由利本荘市
			○	○	○		由利運動公園ソフトボール場・サッカー場	
	女		○	○	◎		由利本荘市ソフトボール場	
			○	○			由利本荘市鶴舞球場	
バドミントン	男女		●	○	◎		美郷総合体育館（リリオス）	美郷町
空手道	男女		●	○	◎		秋田県立武道館	秋田市
ボウリング	男女		●	○	◎		ラウンドワンスタジアム秋田店	秋田市
水泳	男女	9/17～18					秋田県立総合プール	秋田市
ゴルフ	男	9/7～9					秋田椿台カントリークラブ	秋田市
	女	9/7～9					南秋田カントリークラブ	

6 市 2 町 3 4 会場

△開会式（前夜祭）	◎競技終了後表彰式
●開始式後競技	○競技 ▲公式練習